

2021年4月1日

2020年度「多摩地域市民活動公募助成」助成事業実施報告書

団体名 日野の水車活用プロジェクト

代表者・役職名 氏名 多田 啓介

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真的肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

日野の水車活用プロジェクト

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2010年に公学連携(日野市・法政大学)で始まった地元学「日野塾」において、地域の特徴や魅力、課題を探るまち歩きを実施。その中で向島用水沿いに建造された水車が長年使われていなかった。それを見て「もったいないね、活用しよう」と有志が集まりスタートした。2011年発足、現在会員数15名

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

水車の活用を通して日野の歴史、環境を学び日野の宝である水辺(河川、用水、湧水、水田)を保全し次世代に伝えていく。また、3・11東北大震災で得た自然エネルギーの大切さを再発見し、再生エネルギーである小水力発電の可能性を研究する活動をする。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

市内にある水車を活用して、市民と小学生に環境学習を兼ねて水の大切さを知ってもらうイベントを実施する。又水車が持つ機能とエネルギーを小水力に活かせないかの研究を続ける。水車小屋のある周辺での地元コミュニティーの場づくりに貢献するなど。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの「効果」 300文字程度まで

今年は新型コロナウイルス感染騒ぎで予定した活動が大方実施できなかつたが、例年通り小学生の環境学習は出来た。また「水車の話」の勉強会を講師を頼んで市民を巻き込んで実施できた。通常では購入できない高額の設備品を揃えることが出来た。イベントが出来なかつた時間を発足10周年記念誌の制作に専念でき発行することが出来た。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

水車は回っていて当然だが自然の環境の変化で水不足が続くと止まってしまう。市の関係部署だけでは対応しきれない状況が多くなる。水車を回すには、浅川に水量減少により取水不可能となるなど問題は多いが、市の関係部署では、取水口の改良や用水路の整備、水輪の交換など、種々努力してくれている。
展望としては、市内にあるもう1台の老朽化した水車を更新することで「水の郷・日野」をアピールできること。我々プロジェクトの活動をより活発にしていきたい。

7. 参考資料

当プロジェクトで作成した「10周年記念誌」や「パンフレット」を提供します。

参考資料あり

2021 春の水車セミナー

水車の話

日野にはたくさんの水車がまわっていました



真野保氏所蔵



●程久保の水車(昭和18年)
標的の氏所蔵



● 程久保水車 日野市郷土資料館所蔵



●下宿水車
日野信光見隊まちかど写真館提供

■連絡・お問合せ

042-594-3739(多田) mail : sukesan@jcom.zaq.ne.jp

日野にはたくさんの水車がまわっていました

講義内容 <・水車とは・日野の水車の歴史>

新宿から電車で約30分の日野市には、現在も都内第1位の長さ(総延長約116km)を誇る用水が流れ、鮎が遡上し始めています。

江戸時代の日野は多摩地方一番の石高(こくだか-土地生産高)を誇り、七生地区も浅川から取水した用水がめぐる米作地帯でした。この豊富な用水の水と米を使って、江戸時代末期から水車が回り始めました。

水車は動力や揚水に使用できますが、日野市域では主に精穀(精米・精麦)に、大正以降は生糸生産にも使われ、昭和30年頃まではのべ57台以上の水車が回っていました。

昭和になると所用時間・労力ともに優れた電動精米機が導入され、日野市域の水車は大正から昭和10年代をピークに、昭和30年頃にはその姿を消しました。

現在においては大災害の度に自然エネルギーが見直され、水車の伝統技術と動力は持続可能エネルギーとして再評価されています。

今回の講演では、水車とは何かという基本的なことから、用途別における水車の種類とその働き、また講師の専門分野である古文書から読み解いた日野の水車や用水、生活の歴史などをお話しします。

また、日野市内に1996年(平成8)に向島用水親水公園に復元された水車を活用した「日野の水車活用プロジェクト」の活動の紹介も行います。

●講師:上野さだ子

日野の水車活用プロジェクト会員

日野の古文書を読む会会長/日野の昭和史を綴る会会長

日野の古文書研究で水車と出会い、25年間、古文書調査や地域の方からの聞き取りなどを続けている。

2021年3月7日(日)14:00~16:00(13:30から受付開始)

●参加費¥100

※新型コロナウイルス等感染症予防対策として

セミナー会場では座席の間隔を充分に空けて設置いたします。

ご参加の皆様にはマスクの着用、入場の際の手の消毒をお願いいたします。また風邪のような症状のある方につきましては参加を控えていただけますようお願いいたします。

●場所:カワセミハウス



〒191-0052 東京都日野市東豊田3-26-1 Tel: 042-581-1164

JR中央線、豊田駅から徒歩約7分 ※駐車場はございません。

①豊田駅北口を出て右手にある線路沿いの道へ進みます。

②そのまま道なりに進むとカワセミハウスが見えます。

■主催:日野の水車活用プロジェクト ■協力:カワセミハウス環境分科会

■連絡・お問合せ

042-594-3739 (多田) mail:sukesan@jcom.zaq.ne.jp

水車の話

自然エネルギーを利用した
テクノロジーの原点

いにしえの匠たちの

知恵と技は

流れとともに

途断えることなく

現代

そして未来へと
続きます



向島用水親水路水車小屋



日野の水車活用プロジェクト

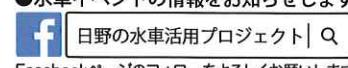
日野市内には、現在2台の水車が復元されています。その一つであり精米機能も備わっている向島用水親水路水車小屋を活用して何かができるだろうかと市民が集まり、2011年から始まったのが「日野の水車活用プロジェクト」です。水田学習も行われている日野市立潤徳小学校の子どもたちが作った玄米を、実際に水車で精米する体験型授業支援をはじめ、市民の精米体験・水車発電実験、行政や他団体との連携イベント、勉強会、見学会などを行い、未来における水車の新しい可能性も考えながら、その魅力や楽しさを伝えています。



▲水車内部見学と仕組みの解説(学習支援)

◆水車まつりポスター 2019.06.08

●水車イベントの情報をお知らせします





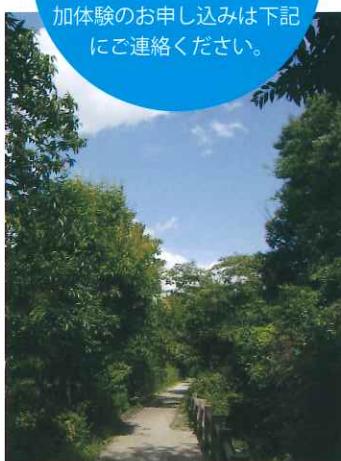
日野の水車活用プロジェクト 水車つておもしろい！水車つてたのしく！

水車は
自然エネルギーを利用した
テクノロジーの原点
いにしえの匠たちの知恵と技は
流れとともに途絶えることなく
現代、そして未来へと続きます

さらさらと流れる用水のほとりで
季節の日差しをあびながら
未来のきれいなエネルギーのこと
想像してみましょう！



向島用水親水路の
水車小屋を中心としたフィール
ドとしています。私たちと共に
活動されたい方々のご参加を
歓迎いたします。入会及び参
加体験のお申し込みは下記
にご連絡ください。



向島用水親水道遊歩道



- 京王線 高幡不動駅北口より 徒歩約8分
- 多摩モノレール 高幡不動駅より 徒歩約8分

連絡・お問合せ／ 日野の水車活用プロジェクト

tel: 042-594-3739 (代表/多田啓介) mail: sukesan@jcom.zaq.ne.jp

定例会／毎月第2土曜日10:00～11:30

定例会場所／南新井ふれあいサロン

日野市新井650-2

※年会費:1000円／見学・参加体験無料

日野の水車活用プロジェクト | Q
Facebookページのフォローをよろしくお願いします
水車イベントの情報をお知らせします



日野の水車活用プロジェクトの活動をご紹介します。

※写真は活動の一部です

学習支援

近隣の小学校を対象に日野の水車の歴史や仕組みなど課外授業を行っています。



水車による精米の見学



粉挽き・粉すり体験



水車模型による発電の説明

行政・他団体との連携イベント



環境情報センターと合同の夏休み水車イベント

まちづくり市民フェア参加

オクトーパーフェスト参加



日野市民環境フェア参加



2019年水車リニューアル記念「水車まつり」開催



調布尺八の会とのコラボレーションイベント

セミナー

専門講師を招待しての勉強会開催



地域で考える自然エネルギー 太陽光発電セミナー

見学会

水車・水力に関する施設や場所の見学



山梨県都留市市民発電所の見学

大田区森が崎水再生センター見学



三鷹市大沢の里水車の見学



山梨県上野原市西原の水車見学

水車の維持・管理

地元の方々と協力し、水車周りの清掃、小さな補修など行っています。

日野の水車活用プロジェクトのはじまり

2009年から始まった

日野市と法政大学の公私連携事業によ

る日野再生プログラムの中で「日

野塾」という市民参加型の勉強

会がありました。そしてより

新しい発見を求めてのまち歩

きをすると、長年住んでい

ても知らない事ばかり。そ

んな時に大きな水車がゆっ

くり廻ってるのを発見。こ

の水車はどんな働きをし

ているの?何かに活用で

きないの?と考えた好奇

心おう盛で楽しいこと

大好きな人達が集まっ

て始まったのがこの

プロジェクトです。

水車は自然エネルギーで動く精密機械。活用して
初めて威力を発揮します。ぜひ一緒に、水車で
精米や発電を体験して歴史と技術を学び、
古くからある水車の新しい可能性を
次世代に伝えていきませんか?

市内を流れる「用水路」は総延長
116km。規模は都内第1位。その用水路では
昭和20年代まで58台もの水車が活躍していました。

日野は水の街。

プロジェクトが
めざすこと
子どもたちの
環境教育の場作り

水車を利用することで見えてくるものがあります。
自然と共にあった頃の暮らし、穀倉地帯だった日野の
歴史や文化、用水路の大切さ、大災害の度に見直され
る自然エネルギーの価値・・・。子供たちと共に足も
とから多くのことを学べるでしょう。

水車を利用して
再生可能エネルギーの
可能性を考える

水車を通して
日野の自然や歴史を
学習し次世代に
伝える

セミナーや
イベント開催による
地域住民の
コミュニティの構築

地域の特性である
水辺環境保全の
在り方の学習



活動10周年記念誌

2011-2021.3

日野の水車活用プロジェクト
水車っておもしろい！水車ってたのしい！水車ってあたらしい！

目次



水車は
自然エネルギーを利用した
テクノロジーの原点
いにしえの匠たちの知恵と技は
流れとともに途断えることなく
現代、そして未来へと
続きます

●はじめに	4
●古文書からみる日野用水と水車	5
A. 水車活用イベント
／市民水車体験 A-1. 精米実験 その1	6
A-2. 精米実験 その2	7
A-3. 精米実験 その3 & 魚取り	9
A-4. 2014年秋の水車イベント	11
A-5. 向島用水と水車を見る・知る・学ぶ	12
A-6. 水車小屋内展示お披露目と精米イベント	13
A-7. 水車まつり - 水車小屋で会いましょう	14
A-8. せせらぎと虫の声と懐かしき音色の夕べ	16
／学習支援 A-9. 潤徳小4年生精米体験授業支援	17
A-10. 潤徳小5年生精米体験授業支援	18
B. 行政・他団体との連携イベント
B-1. まちづくり市民フェアへの参加	20
B-2. 環境情報センターとの合同イベント	22
B-3. カワセミハウスオクトーバーフェスト	24
B-4. 浅川アユ祭りと水車精米	25
B-5. みみネット 水車シンポジウム参加	26
C. 勉強会
C-1. 日野の水車の歴史と構造	27
C-2. 水車の水輪を描いてみよう	28
C-3. 小さな力と大きな未来	29
C-4. 発電と電気のしくみ	29
C-5. 小麦のことを知ろう	30
C-6. 太陽光発電の学習会	32
C-7. 地域で考える自然エネルギー1	33
C-8. 地域で考える自然エネルギー2	35
C-9. 向島用水親水路の制作意図を考える	36
C-10. 「水車の話」セミナー	40
D. 見学会
D-1. 三鷹 しんぐるま	41
D-2. 深大寺水車館	42
D-3. 都留市家中川小水力市民発電所とトラジッショント野	44
D-4. 羽村 中車（なかぐるま）	46
D-5. 高野氏エネルギーハウス・浅川水再生センター	47
D-6. 小平ふるさと村	49
D-7. 小水力発電の見学 大田区森が崎水再生センター	50
D-8. 西原の水車	51
E. 小水力発電の計画と実験
E. 小水力発電の計画と実験	53
F. 水車の維持・管理
F-1. 水車小屋・水輪・用水の清掃	56
F-2. 水車破損状況調査と修理	57
F-3. 水車精米用具 購入品と手作り品	59
●水車イベント用製作物	60
●資料	
・規約	66
・市長への要望書	67
・平成30年度都市農地保全支援プロジェクト実施計画	68
●水車が回るまち、東京・日野	69
●活動年表（2011～2021.3）	70
●会員リスト	71

